

阿寺山（越後三山の展望台）山スキー報告

【山城】越後山脈・阿寺山

【日程】2018年3月11日 晴れ

【メンバー】CL 菊池・石橋・会員外2名

【行程】千葉（菊池家）2:35-3:10 石橋さん PU-関越道-赤城高原 SA(20分朝食・トイレ休憩)-6:20 六日町 IC-山口-広堀橋除雪スペース 7:46-林道-尾根ルート-1250m 台地-12:46 阿寺山山頂-往路を滑走-駐車場-金城の里（入浴:320円）-帰葉



越後駒ヶ岳

中ノ岳

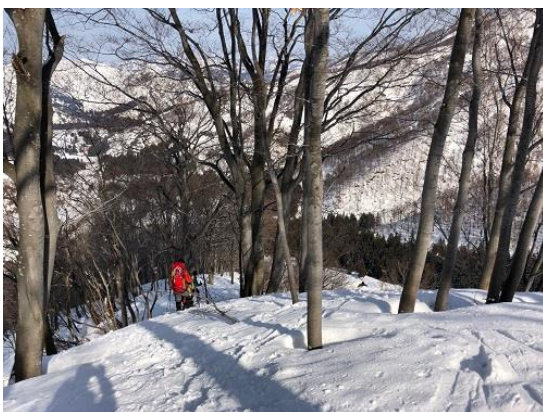
- 3月11日、ツアー日和に恵まれ、憧れの阿寺山(1508.8m)に山スキーに行ってきた。年々年齢4名でのロングハードルートは、想像以上にハードで変化に富んだ充実の一日でした。
2時半わが家を出発、広堀橋の除雪スペースは既に先行車が5~6台駐車、我々は新潟在住の2名と合流し3台分も駐車スペースを確保できた。TM2名、AT2名、7:46スタートした。
- スタート地点は標高390m、登頂には標高差1100m以上の登上げ、前日朝までに少量の降雪があったが、冷え込んだ朝、下地はハードでガリガリ、快調に気



合を入れて林道を進み急な尾根に取りつく。少し下がって登りやすい所から斜面にとついた。ネットでの情報は多数、覚悟はしてきたものの、のっけから固い雪面の急斜面のシール登高、クランポン持参 3 名、トップに行く最も若い上越市のNさんはTMでクランポンは持参していないが、超人的な脚力、テクニックで高度を上げていく。小生はTMに初めてクランポンを装着、効果抜群である。I女史はATでの固い急斜面キックターンは苦労していた。根明け(根開け)の始まってきたブナ林の尾根に歯を食いしばって標高をあげる。



徐々に細尾根となりウネリもありシール・クランポン登高も緊張を強いられ難儀する箇所がでてきた。上から 4 人連れの若者登山グループがツボ足で降りてきた。1250 mの台地でテント泊、夜景が素晴らしかったとのこと。Iはシール登高に時間を要し苦労しているため、ツボ足に切り替え、結果オーライであった。尾根は徐々に広くなり、緊張から解放され始め、左手に迫力の八海山の岩峰が望めるようになってきた。



- ・ 尾根から広いブナ林斜面に移行、10 cm前後の新雪は日陰ではサラサラパウダーで滑走が楽しみである。左側にはジャバミ沢へ落ち込むが美味しそうな急斜面が見える。全員初挑戦、滑走は尾根ルートよりジャバミ沢ルートの方が快適そうであるか、

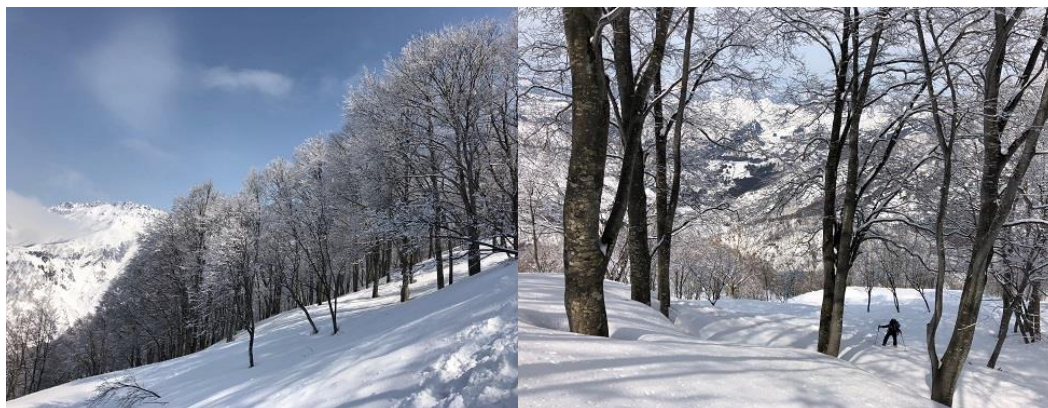


どうしようと考えながら高度を上げた。ブナ林は素晴らしいが総じて、大木は少ない。ブナの美林を撮影しながらまだまだ続く急斜面を登った。

- さあ、台地まで標高差 300mほど、素晴らしいブナ林に癒されながらの登高が続く。右手の山肌はこんな感じです。登る斜面はけっこうな急斜面、固い弱層がありその上に新雪が 15 cm前後、シールの効きも悪くなり滑りやすく、急斜面では雪崩れる可能性もありそう。



台地まであとわずか、霧氷が素晴らしくなってきた。間もなく台地ですよ。

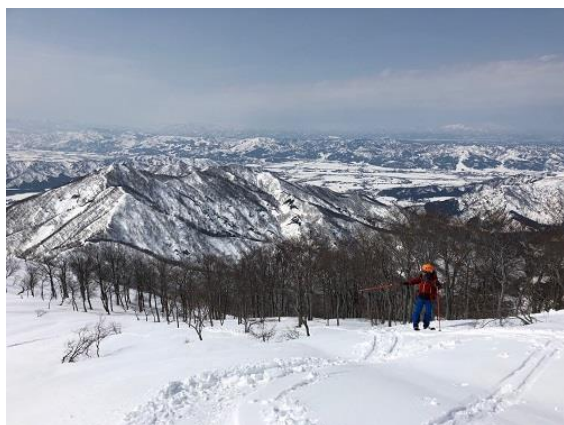


大腿が攣ったITさんも頑張っている。

- ・ 1250m の台地に到着、昨日、若者が張ったテント跡があった。台地からみる八海山に雲がたなびいて綺麗ですね！！



最後の急斜面を苦労しながら登ります。山頂に続く緩斜面の台地に到着、巻機山が望めます。魚沼の平野を見下ろし、米山も見えます。いよいよ山頂が近づいてきました。美しい霧氷を見ながらルンルン気分で進みます。



- ・ 約 5 時間で念願の登頂です。Vサインしながら記念撮影してもらいました。山頂はさ



すが越後三山の大展望台です。期待通り、想像以上の素晴らしさです。登りで楽しませてくれた八海山です。そして、山頂で初めて眼前に現れた豪快な越後駒ヶ岳と中ノ岳です。20 年ほどさあ、いよいよお楽しみ

の大滑走です。滑走前にバンザイの記念撮影です。前、細板革靴テレで越後駒の山頂を踏んだこと、10 年ほど前に夏の中ノ岳に4〜5リットルの水を担ぎ上げて避難小屋泊でニッコウキスゲの綺麗な丹後山に縦走した思い出が蘇ってきました。



- ・ さあ、いよいよお楽しみの大滑走です。滑走前にバンザイの記念撮影です。一昨日の降雪で新雪が 10 cm 強、気温上昇でやや重になったパウダーランが楽しめました。無木立の緩斜面、眼下の雄大な景色を楽しみながらブナ林の急斜面に入ると、30 度を超す急斜面では滑走により固い下地の弱層から小さな表層雪崩を誘発するため、斜度の緩いルートを選びながら、横滑りを交え慎重に高度を下げた。当初ジャ



バミ沢に滑り込む予定であったが、危険性を侵すことはできない。往路の尾根ルートを滑走、気温が上がり適度に緩んだ尾根・斜面は滑りやすい雪質となっており、最後まで快適なターンを描けた。駐車場までの林道は、スキー板が良く走るザラメ状態で、あっという間に駐車場に到着できた。ツアー日和に恵まれ大満足の一



日であった。ご同行下さった皆さんありがとうございました。の楽しい滑走でした。

